

【建設汚泥改良土（第2種処理土）】製造フロー図

斜木建設(株)

①搬入・貯留



- ・粘性土系の建設汚泥をバキューム車又は水密車により貯留ピットに搬入

②固化材投入



- ・スケルトンバケットで異物の除去、性状の均質化
- ・水分調整

③攪拌・養生

概ね1日

④異物除去
粒度調整

- ・振動フルイ機で粒度調整（40mm以上の礫等を除く）



⑤配合試験

- ・含水比の測定、配合試験を行い、第2種処理土の品質確保に必要な固化材等の選定と添加量の決定（コーン指数 800kN/m²以上）

【土壌改良機リテラ】

⑥汚泥の投入

- ・土壌改良機リテラに汚泥を投入



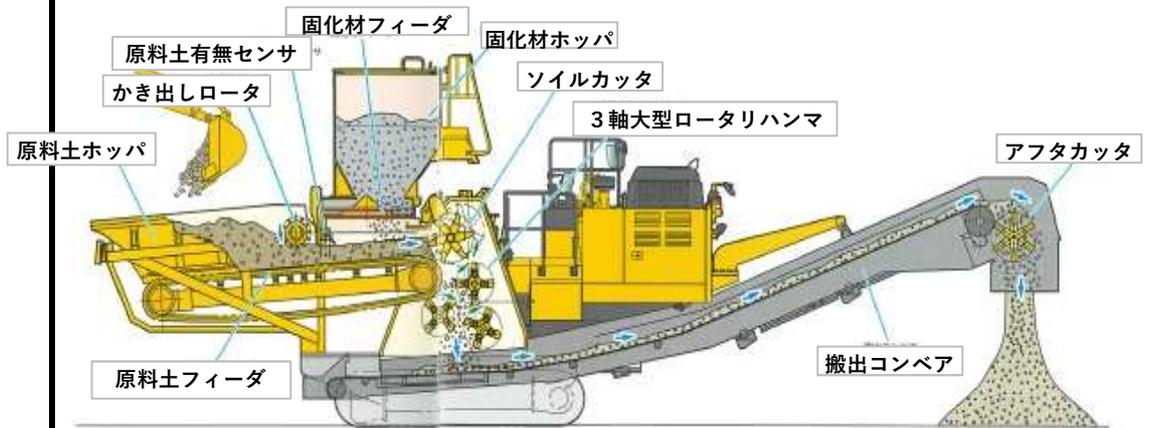
- ・かき出しロータで一定量を混合機へ供給

⑦固化材添加

- ・汚泥に固化材を定量的に添加

⑧ 混 合

- 1次切削混合 ・ 混合機に入った土をソイルカッタにより切削混合
- 2次衝撃混合 ・ 3軸ロータリハンマにより細粒化し固化材と均一に混合
- 3次切削衝撃混合 ・ アフタカッタにより、さらに細粒化混合



⑨ 排 出



⑩ 仮置き・養生

- 7日以上養生して
- 品質・安全性確認
- ・ 溶出量, 含有量
- ・ コーン指数



※1日又は200³m毎に品質試験を
行い、試験成績表を発注者へ提出

- ・ コーン指数(kN/m²):
800kN/m²以上

※1年に1回以上土壤汚染対策法等に
定める溶出量・含有量の試験の実施

⑪ 製品保管ヤード に保管



⑫ 搬 出

土木資材として搬出・使用 (リサイクル)

製品 建設汚泥改良土
(第2種処理土)

製品の利用状況

盛土材



裏込材



埋戻材

